

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身や家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分や家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：1990年1月1日 ～ 2020年12月31日の間に、腎生検を受けられ糖尿病性腎臓病と診断された方

【研究課題名】

臨床・腎病理・バイオマーカーを用いた糖尿病性腎臓病の病態解明：
Toranomom Natural History Study of Diabetic Kidney Disease

【研究の目的・背景】

糖尿病性腎臓病は慢性腎不全の最大の原因疾患であるとともに1998年以降は我が国の透析導入の原因疾患の第1位を占めています。従来、糖尿病性腎臓病は蛋白尿を伴いながら腎機能が低下していき、最終的に透析あるいは早死に至ると報告されてきました。しかしながら、昨今、血糖・血圧・コレステロール管理など集約的治療を行なっていることもあり、必ずしも従来の糖尿病性腎臓病の経過を辿らない方が多数報告され、糖尿病性腎臓病の自然史は多様化しているのではないかと考えられています。そこで、我々は腎生検にて糖尿病性腎臓病と診断された虎の門病院・虎の門病院分院の方を対象に、糖尿病性腎臓病の多様な自然史を明らかにすることを目的として観察研究を行なっております。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年3月28日 ～ 2023年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院分院単独研究

【研究代表者】

虎の門病院分院腎センター内科 医長 山内真之

【利用する者の範囲】

東京女子医科大学糖尿病・代謝内科 教授 馬場園哲也

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院分院腎センター内科医長 山内真之のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、薬歴など

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身や家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身や家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022 年 12 月 31 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 腎センター内科 ・ 山内真之
電話 044-877-5111(代表)

虎の門病院分院 腎センター内科 ・ 澤直樹
電話 044-877-5111(代表)

虎の門病院 腎センター内科 ・ 星野純一
電話 03-3582-1111(代表)